

アソカ講話077

テーマ「不動心を養う」

氷山は海面下にその8割があるという。氷山が安定しているのは隠れている8割があるからであり、人もすべて評価されるよりも、評価されていない、隠れている部分がある方が安定している。

評価されていない才能、業績こそ、その人の自信・平常心の基となるからである。人や周囲に評価されていない仕事や業績があることは、むしろ、その人の徳となり、評価されなくても淡々と生きることを通して、人はその人格を深めていく。

「陰徳を積む」の言葉があるように、人知れず頑張る所・・・評価されていない所こそ、その人の人徳であり人格の基礎となるものである。

人の評価に一喜一憂しなくても、常に見えない所にあるものに自信を持っている人は強い。揺らがない。名利を求めない。自らを高める、心を豊かにする努力を継続している人は、評価する対象は他者や世間の価値観ではなく、昨日の自分であり、心を豊かにするという目標である。だから、世間の名声や他者の評価に心が揺らがず、認められようが否定されようが、穏やかに安定して自分の道を生きることができる。そうありたいものである。